

大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果

研究開発課題名:	共晶反応を用いて作製した多孔質アモルファスシリコンの事業化検証
研究担当者(所属・役職・氏名)	東北大学 金属材料研究所 准教授 岡田 純平

1. SCORE での活動目的

最近我々が開発に成功した多孔質アモルファスシリコンは、液体リチウムイオン電池だけでなく全固体リチウムイオン電池の負極材としても高容量・長寿命という優れた性能を発揮する。本 SCORE プロジェクトでは多孔質アモルファスシリコンの社会実装に向け、多孔質アモルファスシリコンを用いたリチウムイオン電池に関して、顧客調査などを通じて事業化に向けた問題点を洗い出し、解決に向けた道筋の構築を活動目的とする。

2. 総合所見

顧客ヒアリングを通して、多孔質アモルファスシリコンの安定供給や製造のための設備投資についての課題を明確化した上で着実にビジネスモデルの検証を進め、事業の実現性を高めた点を評価する。ヒアリングで得られたネットワークを生かし、事業化に必要な研究開発も継続して、事業化を実現することに期待する。

以上